

令和3(2021)年度
東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻

生命環境科学系 修士課程

入学試験概要および留意事項

注意) 本スライドは入試説明会での説明に代わり、入学試験の概要について説明するものです。正式には、改訂版の募集要項・入学試験案内・出願課題を参照してください。

試験概要

- 1次選考

- 小論文
- 出願書類（成績証明書など）

- 2次選考

- 口述試験（25分間）

1. 出願課題（小論文）に基づいた口頭発表（発表時間：5分）
2. 口頭発表に対する質疑応答、
3. 口頭試問（志望分野の専門知識や語学力等を測る試問）
4. その他の質疑応答

昨年度からの主な変更点

- 筆記試験（英語、総合科目）の取り止め
- 小論文とその他出願書類による審査の追加
- 口述試験のオンライン化・内容追加・試験時間延長
 - 小論文審査の追加
 - 英語/総合科目試験に代わる試問の追加

小論文に関する留意事項

- 審査は評価観点（課題ファイル内に記載）に沿って行われるため、評価観点を踏まえた記述とすることが望ましい。
- 「作成した解答に対して、総合文化研究科教員へ助言や事前確認を求める行為」を不正行為とみなす。提出された解答において総合文化研究科教員の添削等の指導行為が判明した場合も不正行為となる。
- 「研究テーマや計画の内容について、総合文化研究科教員と相談すること」は不正行為とみなさない。研究室選択や入学後の研究実施等に必要なことから問題ない。
- 「作成した解答に対して、総合文化研究科教員を除く他者へ助言や事前確認を求める行為」は不正行為とみなさないが、本試験の趣旨を踏まえると望ましい行為ではないことを留意しておくこと。
- 解答を他者（特に総合文化研究科教員）が閲覧可能な状態で保管することは不正の疑念を生じる可能性もあることを留意し、慎むこと。
（例、研究室など公的場所での管理、共有フォルダでの保存など）

口述試験に関する留意事項

- 口述試験の評価は実施事項4点の結果に基づき総合的に行う。
 1. 出願課題（小論文）に基づいた口頭発表（発表時間：5分）
 2. 口頭発表に対する質疑応答、
 3. 口頭試問（志望分野の専門知識や語学力等を測る試問）
 4. その他の質疑応答
- 口頭発表では追加資料などは認めないので、小論文のみで分かり易い発表を実施出来るよう準備すること。
- 口頭試問では志望分野の専門知識や語学に関する能力を測るための試問を行う。この試問は筆記試験の取り止めに伴う代替措置である。筆記試験と同様の準備を行っておくことが望ましい。志望分野とは研究計画に記載する分野とその関連分野を指す。

その他の留意事項

- 口述試験はオンラインで行う。不慣れな者は早めに準備に取り掛かること。口述試験のガイドライン（接続方法等）は受験票と共に送付予定である（8/4頃発送予定）。
- パソコン及びカメラ（コンピュータの内蔵カメラまたはウェブカメラ）等を準備のうえ、周囲に人のいない静謐な環境で受験すること。（詳細は募集要項およびガイドライン（受験票と共に送付予定）を参照）
- 事務手続きにおいて、例年とは異なる点も多い。加えて、出願にあたって必要となる書類（課題等）が各系で異なる。間違いのないよう準備すること。